

## 規程

journal or publication title	年報
volume	1
page range	126-132
year	2002-05-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/00108822">http://hdl.handle.net/10097/00108822</a>

## 5. 付 録

### 東北大学情報シナジーセンター規程

平成13年 3 月31日規第47号

(趣旨)

第1条 この規程は、国立学校設置法施行規則（昭和39年文部省令第11号）第31条の規定に基づき、東北大学情報シナジーセンター（以下「センター」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、全国共同利用施設として、教育研究に係わる情報基盤を整備し、運用するとともに、情報基盤の一層の充実のために必要な研究開発を行い、もって教育研究を支援することを目的とする。

(センター長)

第3条 センターに、センター長を置く。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

(副センター長)

第4条 センターに、副センター長 3 人以内を置く。

2 副センター長は、センター長の職務を補佐する。

3 副センター長は、センターの専任の教授をもって充てる。

4 副センター長の任期はセンター長の任期の範囲内とし、再任を妨げない。

(研究開発部)

第5条 センターに、研究開発部を置く。

2 研究開発部に、次の研究部を置く。

ネットワーク研究部

スーパーコンピューティング研究部

学術情報研究部

情報教育研究部

先端情報技術研究部

(職員)

第6条 センターに、教授、助教授、講師、助手その他の職員を置く。

(運営委員会)

第7条 センターに、その組織、人事、予算その他運営に関する重要事項を審議するため、東北大学情報シナジーセンター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

第8条 運営委員会は、委員長及び次の各号に掲げる委員をもって組織する。

一 情報シナジー機構長

二 文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科及び国際文化研究科の各研究科長の互選による研究科長 1 人

三 理学研究科、工学研究科及び情報科学研究科の各研究科長

四 医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、農学研究科及び生命科学研究科の各研究科長の互選による研究科長 1 人

五 金属材料研究所、加齢医学研究所、流体科学研究所及び多元物質科学研究所の各附置研究所長の互選による附置研究所長 1 人

- 六 電気通信研究所長
- 七 大学教育研究センター長
- 八 センターの専任の教授
- 九 事務局長

第9条 運営委員会の委員長は、センター長をもって充てる。

2 委員長は、会務を総理する。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

(全国共同利用委員会)

第10条 センターに、大規模科学計算システムの全国共同利用に関する重要事項について審議するため、東北大学情報シナジーセンター大規模科学計算システム全国共同利用委員会（以下「全国共同利用委員会」という。）を置く。

第11条 全国共同利用委員会は、委員長及び次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 東北大学（センターを除く。以下「本学」という。）の専任の教授又は助教授 若干人
- 二 本学の教官以外の学識経験者 若干人
- 三 センターのネットワーク研究部及びスーパーコンピューティング研究部の教授及び助教授
- 四 事務局長

第12条 全国共同利用委員会の委員長は、センター長をもって充てる。

2 委員長は、会務を総理する。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

第13条 前3条に定めるもののほか、全国共同利用委員会の運営等に関し必要な事項は、全国共同利用委員会の議を経て、センター長が定める。

(ネットワークシステム学内共同利用委員会)

第14条 センターに、ネットワークシステムの学内共同利用に関する重要事項について審議するため、東北大学情報シナジーセンターネットワークシステム学内共同利用委員会（以下「ネットワークシステム学内共同利用委員会」という。）を置く。

第15条 ネットワークシステム学内共同利用委員会は、委員長及び次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 各研究科の教授、助教授又は講師 各1人
- 二 各附置研究所の教授、助教授又は講師 各1人
- 三 附属図書館副館長
- 四 医学部附属病院の教授、助教授又は講師 1人
- 五 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンターの教授、助教授又は講師 1人
- 六 東北アジア研究センターの教授、助教授又は講師 1人
- 七 総合学術博物館の教授、助教授又は講師 1人
- 八 センターのネットワーク研究部及びスーパーコンピューティング研究部の教授、助教授及び講師
- 九 総務部長、研究協力部長、経理部長、学務部長及び施設部長
- 十 その他ネットワークシステム学内共同利用委員会が必要と認めた者 若干人

第16条 ネットワークシステム学内共同利用委員会の委員長は、センター長が指名する副センター長をもって充てる。

2 委員長は、会務を総理する。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

第17条 前3条に定めるもののほか、ネットワークシステム学内共同利用委員会の運営等に関し必要な事項は、ネットワークシステム学内共同利用委員会の議を経て、センター長が定める。

(情報教育システム学内共同利用委員会)

第18条 センターに、情報教育システムの学内共同利用に関する重要事項について審議するため、東北大学情報シナジーセンター情報教育システム学内共同利用委員会（以下「情報教育システム学内共同

利用委員会」という。)を置く。

第19条 情報教育システム学内共同利用委員会は、委員長及び次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 各研究科の教授、助教授又は講師 各1人
- 二 大学教育研究センターの教授、助教授又は講師 1人
- 三 センターの情報教育研究部の教授、助教授及び講師
- 四 その他情報教育システム学内共同利用委員会が必要と認めた者 若干人

第20条 情報教育システム学内共同利用委員会の委員長は、センター長が指名する副センター長をもって充てる。

2 委員長は、会務を総理する。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

第21条 前3条に定めるもののほか、情報教育システム学内共同利用委員会の運営等に関し必要な事項は、情報教育システム学内共同利用委員会の議を経て、センター長が定める。

(委嘱)

第22条 第8条第2号、第4号及び第5号、第11条第1号及び第2号、第15条第1号、第2号、第4号から第7号まで及び第10号並びに第19条第1号、第2号及び第4号に掲げる委員は、総長が委嘱する。

(任期)

第23条 第11条第1号及び第2号、第15条第1号、第2号、第4号から第7号まで及び第10号並びに第19条第1号、第2号及び第4号に掲げる委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の委員は、再任されることができる。

(幹事)

第24条 運営委員会、全国共同利用委員会、ネットワークシステム学内共同利用委員会及び情報教育システム学内共同利用委員会に幹事を置き、センターの事務長をもって充てる。

(事務部)

第25条 センターに置かれる事務部の組織については、東北大学事務組織規程(昭和34年4月14日制定)の定めるところによる。

(雑則)

第26条 この規程に定めるもののほか、センターの組織及び運営に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が定める。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

# 東北大学情報シナジーセンター運営委員会運営内規

制定 平成13年 3 月31日

(趣旨)

第1条 東北大学情報シナジーセンター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の運営については、東北大学情報シナジーセンター規程（平成13年 3 月31日規第47号、以下「規程」という。）に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

(議長)

第2条 運営委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

(定足数)

第3条 運営委員会は、委員長及び委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することはできない。ただし、次の各号に掲げる特に重要な事項について審議する場合には、委員長及び委員の3分の2以上が出席しなければならない。

- 一 センター長候補者の選考に関する事項
- 二 センターの教官の人事に関する事項

(議決)

第4条 運営委員会の議決は、出席した委員の3分の2以上の同意をもって決する。

(雑則)

第5条 この内規に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が定める。

附 則

この内規は、平成13年 4 月 1 日から施行する。

# 東北大学情報シナジーセンター全国共同利用委員会運営内規

制定 平成13年 3 月31日

(趣旨)

第1条 東北大学情報シナジーセンター全国共同利用委員会（以下「委員会」という。）の運営については、東北大学情報シナジーセンター規程（平成13年 3 月31日規第47号、以下「規程」という。）に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

(会議)

第2条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、定例として年3回開催するものとし、原則として開催の時期は、4月、7月及び1月とする。

3 委員長は、緊急に委員会を開催する必要があると認める場合は、臨時に委員会を開催することができる。

4 委員会は、委員長及び委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

5 委員会の議事は、出席した委員の3分の2以上の同意をもって決する。

(委員)

第3条 規程第11条第1号及び第2号に規定する委員の数は、当分の間、次の各号に掲げるとおりとする。

一 東北大学（センターを除く。）の教授又は助教授 9人以内

二 東北大学以外の学識経験者 9人以内

(専門委員会)

第4条 専門の事項を調査審議させるため、委員会に専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の名称及び調査審議事項は、次の表に掲げるとおりとする。

専門委員会の名称	調 査 審 議 事 項
将 来 計 画 専 門 委 員 会	組織、次期システム等の検討、自己評価及びセンターの在り方等に関する事項
負 担 金 専 門 委 員 会	負担金の改正及びセンター運営経費の検討に関する事項
ライブラリ・共同研究専門 委 員 会	ライブラリ及び共同研究の採択に関する事項
広 報 専 門 委 員 会	広報に関する事項

3 専門委員会は、専門委員若干人をもって組織する。

4 専門委員は、センター長が委嘱する。

5 専門委員会に委員長を置き、専門委員の互選によって定める。

6 専門委員会の委員長は、専門委員会の会務を掌理する。

(雑則)

第5条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経てセンター長が定める。

附 則

この内規は、平成13年 4 月 1 日から施行する。

# 東北大学情報シナジーセンターネットワークシステム学内共同利用委員会運営内規

制定 平成13年 3 月31日

(趣旨)

第1条 東北大学情報シナジーセンターネットワークシステム学内共同利用委員会（以下「委員会」という。）の運営については、東北大学情報シナジーセンター規程（以下「規程」という。）に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

(会議)

第2条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員長及び委員の過半数が出席しなければ、会議を開き議決することができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の3分の2以上の同意をもって決する。

(専門委員会)

第3条 専門の事項を調査審議させるため、委員会に専門委員会を置く。

2 専門委員会の名称及び調査審議事項は、次の表に掲げるとおりとする。

専門委員会の名称	調 査 審 議 事 項
技 術 専 門 委 員 会	情報システムの利用技術及び運用管理に関する事項
広 報 専 門 委 員 会	情報システムの広報に関する事項

3 専門委員会は、専門委員若干人をもって組織する。

4 専門委員は、センター長が委嘱する。

5 専門委員会に委員長を置き、専門委員の互選によって定める。

6 専門委員会の委員長は、専門委員会の会務を掌理する。

(研究会)

第4条 技術専門委員会に研究会を置く。

2 研究会の名称及び調査研究事項は、次の表に掲げるとおりとする。

研究会の名称	調 査 審 議 事 項
TAINS 利 用 研 究 会	TAINS の利用に関する調査及び研究

3 研究会は、次に掲げる会員をもって組織する。

一 技術専門委員会委員 若干人

二 東北大学の教員 若干人

三 情報システムに関し専門的知識を有する者 若干人

4 研究会の会員は、センター長が委嘱する。

5 研究会に主査を置き、その研究会に所属する技術専門委員会委員の中から互選によって定める。

6 主査は、研究会の会務を掌理する。

(構成員以外の者の出席)

第5条 委員会、専門委員会及び研究会は、必要があると認めるときは、構成員以外のものを出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(雑則)

第6条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て、センター長が定める。

附 則

この内規は、平成13年4月1日から施行する。

# 東北大学情報シナジーセンター情報教育システム学内共同利用 委員会運営内規

制定 平成13年 3 月31日

(趣旨)

第1条 東北大学情報シナジーセンター情報教育システム学内共同利用委員会(以下「委員会」という。)の運営については、東北大学情報シナジーセンター規程(以下「規程」という。)に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

(会議)

第2条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員長及び委員の過半数が出席しなければ、会議を開き議決することができない。ただし、特に重要な事項について審議する場合には、委員長及び3分の2以上の委員が出席しなければならない。

3 委員会の議事は、出席した委員の3分の2以上の同意をもって決する。

(専門委員会)

第3条 専門の事項を調査審議させるため、委員会に専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会は、専門委員若干人をもって組織する。

3 専門委員は、センター長が委嘱する。

4 専門委員会に委員長を置き、専門委員の互選によって定める。

5 専門委員会の委員長は、専門委員会の会務を掌理する。

(構成員以外の者の出席)

第4条 委員会及び専門委員会は、必要があると認めるときは、構成員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(雑則)

第5条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て、センター長が定める。

附 則

この内規は、平成13年4月1日から施行する。